



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究室日誌（昭和51年度）
Citation	北海道大学教育学部社会教育研究室報, 1976, 90-93
Issue Date	1977-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/28594
Type	departmental bulletin paper
File Information	1976_P90-93.pdf



研究室日誌（昭和51年度）

- 4月 27日 社会教育施設見学
- 5月 30日 日本社会教育学会六月集会（東京）参加（美土路、山田、高倉、千葉）
- 6月 11日 学生社会調査実習予備調査（月形町）
- 7月 12～16日 学部集中講義（藤田秀雄立正大学教授）
- 17日 研究交流会 藤田秀雄講師「最近の社会教育の動向について
学生社会調査実習（士別市）
- 21～25日 北海道大学公開講座（第一回）「社会教育論」 士別市において開設
- 21日 〇消費者教育の現状と課題 美土路
- 22日 〇 同 上 ”
- 23日 〇 社会教育行政・施設の現状と課題 高倉
- 24日 〇 同 上
- 25日 〇 社会体育の現状と課題（水泳指導を含む）
井芹 二郎（本学部助教授）
三好 洋二（ ” 講 師 ）
- 8月 8～9日 第15回北海道民間教育研究集会
参加 社会教育分科会（美土路、高倉、神田、木村、藤田、千葉
柳田、 ）
へき地教育分科会（山田）
- 12～13日 研究合宿（農民層分解論・農法論）
- 12～25日 別海町調査（山田、木村、千葉、柳田、他学生1名）
〇 泉川地区農家実態調査（酪農機械化と技術・技能の要求、
酪農民・婦人の生活実態等）
- 27～29日 北海道大学公開講座（第二回）「社会教育論」 士別市において開設
- 27日 農民教育の現状と課題 山田
- 28日 ”
- 29日 憲法教育基本法と社会教育 山崎真秀（本学部）
- 9月 4～6日 社会教育研究全国集会（東京） 参加（山田）
- 13～15日 日本社会教育学会大会（東京、早大）
〇 地域農業教育の実態と課題 （山田）
〇 社会教育関係事業と地方社会教育財政
北海道及び道内市町村の実態を中心に （高倉）
〇 出稼き問題と児童福祉—生活に根ざした地域教育計画を展望しての
（神田）
〇 農村婦人の労働の変容と社会教育の課題に関する一考察 （木村）
〇 地域農業の変貌にともなう農村婦人集団の変容と学習活動（千葉）

- 11月 4日 社会教育施設見学（道立図書館、道立教育研究所）
- 20日 研究交流会
 ○日本図書館協会 常務理事 浪江虔講師
 「都市と農村における文化運動と図書館活動」
 ○報告 都市における図書館活動（高倉）
- 23日 洞爺村青年祭 報告・参加（山田、藤田、千葉、兜、他学生2名）
 ○洞爺村農村調査に学ぶ（山田）
 ○農家婦人実態調査報告（千葉）ほか
- 1月 7日 北海道農業教育研究会（於北大教育学部）参加（山田、木村、千葉）
 ○農家後継者教育と農業学園（兜）
- 8～9日 全道高等学校職業教育研究集会、参加（山田、木村、千葉）
- 10～15日 洞爺村冬期野菜講習会 参加（千葉）
- 24日 農業技術学習会：太田嘉四夫助教授（農業
- 2月 11日 士別市青年教室、報告・参加（木村、千葉）
 ○社会教育施設と青年の学習活動 木村・千葉
- 12～13日 北海道教育学会研究大会、報告、参加
 ○農業生産力形成と農民教育の課題（藤田）
 （学生部会）
 ○公民館活動における公民館職員の性格と役割
 一旭川市における実態調査から（加納）
 ○農業青年の生活と学習活動について
 一北海道3地域の比較を通して（門脇）
 ○農業生産組織の実態と問題点
 一士別市多寄町の事例分析中心に（沼倉）
- 24日 農業技術学習会：高井宗宏 講師（農学部農業工学科）
- 15日 農業技術学習会：大金永治 助教授（農学部）

3月

<昭和51年度関連講義>

- 学部集中講義一講師、藤田秀雄立正大学教授
 テーマ『社会教育論』
- 「社会教育論Ⅰ」（前期）（担当美土路）
- 「教育学概説」（同上）
- 「地域経済論」（前期）（担当山田）
- 「教育学概説」（同上）
- 「社会教育制度論」（後期）（担当高倉）
- 社会調査実習（ゼミおよび調査：担当、美土路、山田、高倉）
- 基礎ゼミ（エンゲルス『空想から科学へ』、レーニン『帝国主義論』）

- ゼミ(専門演習Ⅰ、Ⅱ)(担当 美土路、山田、高倉)
 - 前期テキスト 碓井正久編 戦後日本の教育改革10「社会教育」
 - 後期テキスト 宮本憲一著「社会資本論」
- 大学院ゼミ『農業技術論』(担当 美土路)
 - 前期テキスト 古島敏雄著『農業史』
 - 後期テキスト 井上晴丸著『日本資本主義の発展と農業及び農政』
- 大学院ゼミ『農村婦人論』(担当、美土路、山田、高倉)
 - テキスト 田沼肇編著『現代の婦人論』他
- 大学院ゼミ『資本論』(担当、山田)
- 研究室会議(定例・月曜)

編 集 後 記

先年度にひきつづいて今年度も研究室報をまとめて残しておこうという気運になったのは、年度の後半もかなりたってからのことであった。

こうして編集を終えてみると、結果的には卒業論文の要旨が中心のようなかたちになってしまった。しかし、卒論も内容の水準は別としても各人の意欲的な取り組みの成果であり、研究室として全力をあげて指導した結果の作品であるし、巻末の婦人教育関係の文献リストも、従来にはないものであり、それなりに寄与するところがあろうかと考えている。

ところで、当研究室の元教授留岡清男氏が本年2月3日逝去された。先年度の研究室報で、留岡先生の業績一覧を載せたのであるが、一年後の研究室報編集の際、すでになき人となっていようとは……悲しみにたえない。これからも、留岡先生の業績を撰取し、その遺志を発展させていくべく、研究スタッフ一同、一層の奮起の必要を、改めて痛感した次第である。

本年度の通常の研究室スタッフは、研究生も含めて9人であった。このうち、大学院博士課程の神田嘉延が鹿児島大学に、研究生の兜賢一が、留萌管内の幌延町に赴任することになった。来年度は、研究生として研究スタッフに加わっていた柳田泰典が大学院修士課程の院生として、さらに農業改良普及員の特別研修生1名をむかえることになった。

本研究室報は、テープほどこきなども加えると、研究室スタッフ全員の参加のういで発行にこぎつけることができたが、全体の編集には研究室助手高倉が、研究室日誌作成には主に大学院博士課程木村純があたった。

最後に、本報告発行に御協力いただいた本学部事務、生協プリント部の諸氏に謝意を表したい。

(高倉記)

1976年度北海道大学教育学部社会教育研究室報

発行者 北海道大学教育学部社会教育研究室
(札幌市北区北11条西7丁目)

印刷者 北大生協プリント部

発行日 昭和52年3月31日

< 非売品 >